

令和5年度生徒による自己評価アンケート

令和5年度保護者による学校評価アンケート

令和5年度教職員による自己評価アンケート

過年度比較並びにアンケート分析

令和5年度 生徒自己評価の過年度比較
 (※は今年度より 当てはまる・やや当てはまるの%割合)

項目	質問項目	R3	R4	R5	前年度比	前々年比	達成度
1	毎日の授業にしっかり取り組んでいる。	3.3	3.3	3.1	-0.2	-0.2	88.1 %
2	宅習時間をしっかり確保している。	2.5	2.5	2.3	-0.2	-0.2	70.6 %
3	提出物は期限までに提出している。	3.2	3.2	2.9	-0.3	-0.3	71.2 %
4	進路実現のために努力している。	2.1	2.1	2.9	0.8	0.8	74.6 %
5	勉強と部活動を両立できるよう努力している。(※部活動生のみ答えてください。)	3.6	3.6	2.9	-0.7	-0.7	52.5 %
6	校則はいつでもしっかり守るようにしている。	3.6	3.6	3.5	-0.1	-0.1	94.1 %
7	交通ルール等はしっかり守るようにしている。	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	99.2 %
8	校内の清掃時間は時間一杯取り組んでいる。	3.5	3.5	3.4	-0.1	-0.1	93.2 %
9	人に会ったら挨拶をするように努めている。	3.7	3.7	3.5	-0.2	-0.2	94.9 %
10	学校からのプリント類は必ず保護者に見せている。	3.2	3.2	3.1	-0.1	-0.1	75.4 %
11	学校行事に積極的に参加している。	3.5	3.5	3.5	0.0	0.0	89.8 %
12	悩み等は誰かに相談し、解決するようにしている。	3.1	3.1	3.0	-0.1	-0.1	76.3 %
13	健康管理に気をつけている。	3.4	3.4	3.2	-0.2	-0.2	83.9 %
14	学校生活に満足している。	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	87.3 %
15	スタディサプリが学習を支援するツールになっている。	3.4	3.2	2.7	-0.5	-0.7	59.3 %
16	スタディサプリを課題以外の学習自習に役立てている。	3.2	2.6	2.4	-0.2	-0.8	43.2 %

【傾向分析】

①生徒アンケート 傾向と分析

今年度のアンケートから Google フォームを使用した WEB での回答方法に変更したため、回収率が下がってしまった(R4 は 97.1 %→ R5 は 78.3 %)。そのため、回収率の差から過年度との比較が一概にはできないと判断し、過年度比較とともに、今年度は、生徒の自己評価の高さを測ることを分析に加えた。具体的には、各項目について「当てはまる」と「ややあてはまる」に回答した生徒の割合を算出している。その結果、多くの項目が 70 %以上であり、概ね良好であると推察される。

特に項目 7「交通ルール等はしっかり守るようにしている。」(99.2 %), 項目 9「人に会ったら挨拶をするように努めている。」(94.9 %), 項目 6「校則はいつでもしっかり守るようにしている。」(94.1 %)と、項目 4「進路実現のために努力している。」(前年より 0.8 ポイント上昇)の項目が高い数値を示している。

項目 9 挨拶については、屋久島町が「あいさつ日本一の町」を掲げていることもあり、家庭や地域、小・中学校での指導の積み上げの上に今回の数字があると考察する。また、本校生徒玄関前にも桃太郎旗を立て、毎朝、生徒指導部主任が生徒を迎えるべく玄関前で挨拶をしていることも生徒の意識付けになっている模様である。当たり前で誰とでも挨拶ができるという生徒達の素直さを高校でも引き続き大切に育てて社会に送り出したい。

一方で項目 5「勉強と部活動を両立できるよう努力している。(※部活動生のみ回答)」(52.5 %), 項目 15「スタディサプリが学習を支援するツールになっている。」(59.3 %), 項目 17「スタディサプリを課題以外の学習自習に役立てている。」(43.2 %)が課題である。授業中はしっかり取り組んでいる(項目 1 が 88.1 %)が、自宅学習(項目 2 が 70.6 %)の意欲喚起まで至っていない現状が見えてくる。自宅学習で活躍するのがスタサプであるため、自宅学習が確保されていないこととスタサプ活用の低さには相関があると考えられる。スタサプには生徒の興味・関心を引き出す多くのコンテンツがあったり、本校職員が今日行った授業の内容に関連するプリントを作成しその夜には配信していたりと工夫を凝らしている。引き続き様々な工夫し、もっと考えたい、もっと調べてみたいという生徒の意欲を喚起することで、その興味・関心を自宅での学習のモチベーションにして、スタサプ利用にもつなげていきたい。

回収率については、少しでも向上するよう方法を工夫していきたい。

令和5年度 保護者による学校評価の過年度比較
(※は今年度より 当てはまる・やや当てはまるの%割合)

項目	質問項目	R3	R4	R5	前年比	前々 年比	満足度
1	屋久島高校は雰囲気良く、生徒がいきいきと活動している。	3.6	3.4	3.5	0.1	-0.1	97.9 %
2	屋久島高校は独自の教育活動に取り組んでいる。	3.2	3.3	3.4	0.1	0.2	89.6 %
3	屋久島高校は生徒の持てる能力を十分に引き出している。	3.0	3.1	3.1	0.0	0.1	87.5 %
4	屋久島高校は個々の生徒の進路実現のために的確に対応している。	3.1	3.2	3.2	0.0	0.1	93.8 %
5	屋久島高校は交通安全指導・生徒指導を適切に行っている。	3.1	3.3	3.1	-0.2	0.0	87.5 %
6	屋久島高校は学力向上をめざして的確な対応をしている。	3.2	3.3	3.1	-0.2	-0.1	81.3 %
7	屋久島高校は校内美化や掃除の徹底に努めている。	3.3	3.4	3.3	-0.1	0.0	91.7 %
8	屋久島高校は適切な職業意識・勤労意識を育む教育に取り組んでいる。	3.1	3.3	3.0	-0.3	-0.1	81.3 %
9	屋久島高校は豊かな心を持った生徒を育てようとしている。	3.1	3.3	3.2	-0.1	0.1	87.5 %
10	屋久島高校は教育方針・努力目標等をわかりやすく伝えている。	3.0	3.2	3.0	-0.2	0.0	81.3 %
11	屋久島高校は社会ルールやモラルを守る態度を育てると共に、生命を大切にする心の教育に努めている。	3.1	3.2	3.1	-0.1	0.0	85.4 %
12	屋久島高校は教育環境の整備に努めている。	3.2	3.3	3.3	0.0	0.0	89.6 %
13	屋久島高校は開かれた学校づくりに努めている。	3.1	3.3	3.3	0.0	0.2	91.7 %
14	屋久島高校は説明責任を果たしている。	3.0	3.2	3.1	-0.1	0.1	85.4 %
15	屋久島高校は保護者や地域に対し、教育活動に関する情報提供に努めている。	3.0	3.2	3.2	0.0	0.2	83.3 %
16	屋久島高校はPTA活動を活発に行っている。	2.9	3.1	2.8	-0.3	-0.1	66.7 %
17	屋久島高校生は勉強に一生懸命取り組んでいる。	3.1	3.1	3.0	-0.1	-0.1	81.3 %
18	屋久島高校生は部活動に一生懸命取り組んでいる。	3.2	3.3	3.3	0.0	0.1	91.7 %
19	屋久島高校生はボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	3.1	3.4	3.4	0.0	0.3	91.7 %
20	屋久島高校生の服装・容儀はしっかりしている。	3.4	3.4	3.6	0.2	0.2	95.8 %
21	屋久島高校生は公共マナーに関する認識がしっかりしている。	3.2	3.3	3.3	0.0	0.0	87.5 %
22	屋久島高校生の交友関係は高校生として適切なものである。	3.2	3.3	3.2	-0.1	0.0	89.6 %
23	スタディサプリが屋久島高校生の学習を支援するツールになっている。	3.4	3.0	3.0	0.0	-0.4	75.0 %
24	スタディサプリが屋久島高校生の教育活動に関する情報提供ツールになっている。	3.3	2.9	3.1	0.2	-0.2	79.2 %

②保護者アンケート 傾向と分析

今年度のアンケートから Google フォームを利用した WEB での回答方法に変更したため、回収率が下がってしまった(R4は83.9%→R5は44.3%)。

生徒同様、回収率の差から過年度との比較が一概にはできないと判断し、今年度の満足度を測り、分析に加えた。具体的には各項目について「当てはまる」と「ややあてはまる」に回答した保護者の割合を算出した。その結果、ほとんどの項目が80%を超えるものであり、概ね良好であると推察される。特に、項目1「屋久島高校は雰囲気良く、生徒がいきいきと活動している。」の質問に対して97.9%の保護者が「あてはまる」と回答していることは職員の励みになると考えた。当然のことであるが、屋久島高校の雰囲気は職員だけで作るものではない。頑張る生徒、それを支える保護者、地域。何年も掛けて今の屋久島高校が築かれている。我々職員はこの結果に奢ることなく、来年度以降も学校がいきいきと活動していくためにさらに研鑽していきたい。

一方で、項目16「屋久島高校はPTA活動を活発に行っている。」(66.7%)、項目23「スタディサプリが屋久島高校生の学習を支援するツールになっている。」(75.0%)、項目24「スタディサプリが屋久島高校生の教育活動に関する情報提供ツールになっている。」(79.2%)の3項目に改善の余地がある。

項目16については、ここ数年、PTAは改革を行っていることが要因と考える。PTA会長をはじめ役員、運営委員のみなさんが多くの保護者のご意見をいただきながら、新しいPTAの在り方を模索している最中である。今年度からは「形骸化している」、「職員の業務負担軽減につながる」という意見の多かった地区PTAを中止することになった。よって、「活動しているか」の問いに対して「あてはまる」と答えにくい一面があったと推察される。コロナ禍を経て、PTA会長の下、新しいPTA活動の黎明期といえる時期であり、その在り方を模索していくことは今後しばらく続きそうである。

項目15・16のスタディサプリについては、浸透することが第一の課題であると考え。本校ではスタサプが保護者と学校の連絡ツールの一助ともなっている。PTA総会のような大きな集団に対してよりも、学級PTAのような小さな集団になった際に保護者同士で実際に使用してもらうなどの工夫をしていきたい。

回収率アップの方法を模索し、来年度につなげていきたい。

令和5年度 職員による自己評価の過年度比較

項目	質問項目	R3	R4	R5	前年度比
1	校訓「敬愛・互譲・協力」（求める生徒像）の実現をめざして様々な教育活動を推進している。	3.7	3.8	3.9	0.1
2	担任や教育相談係等との連携を図るなど、教育相談の日常化への努力をしている。	4.3	4.1	4.3	0.2
3	教科や部活動等を通して、問題をかかえる生徒をはじめ、日頃から積極的に各生徒に声かけをするなど、生徒とのコミュニケーションづくりに努力している。	4.4	4.2	4.2	0.0
4	生徒が下校時刻を守るように指導している。	3.7	3.8	4.1	0.3
5	宅習時間の増加のための工夫をして指導している。	3.8	3.7	3.9	0.2
6	チャイムと同時に授業を始め、分かる授業をめざし工夫改善に心がけている。	3.9	4.1	4.4	0.3
7	課題提出の徹底をはじめ、学力向上を目的に個に応じた適切な指導に努めている。	4.0	4.0	4.1	0.1
8	学力向上等の手立てについて教科・教職員間での連携に努めている。	3.9	3.9	4.0	0.1
9	教育機関の講座や研修会への積極的参加など自己研鑽の努力をしている。	3.8	3.5	3.8	0.3
10	自らの挨拶の励行、マナーの向上及び人権感覚の高揚などに努めている。	4.1	4.1	4.3	0.2
11	生徒の健康管理や日頃の美化活動の推進に取り組んでいる。	4	4.0	4.1	0.1
12	安全指導の徹底及び事故発生時の対応・訓練、緊急連絡体制の確認をしている。	4.1	3.9	4.1	0.2
13	生徒が安全で楽しい学校生活を送れるよう、施設整備の点検や教育環境の充実に努めている。	4.1	3.8	4.2	0.4
14	屋久島高校ランドデザインに示した資質・能力に努めている。	3.6	3.6	4.0	0.4
15	探究活動の指導に積極的に取り組んでいる。	4.2	3.9	3.8	-0.1
16	校務分掌に対し、創意工夫（改善の視点）である業務遂行を心がけている。	4.2	4.1	4.3	0.2
17	普通科・情報ビジネス化の特色が発揮される教育課程や学習指導を行っている。	4.0	3.8	4.1	0.3
18	生徒が自己実現を図れるよう、計画的な進路指導の推進に努力している。	4.0	3.9	4.0	0.1
19	様々な教育活動を通して、ICT機器の活用など、情報に関する諸能力の育成に心がけている。	4.1	3.7	3.8	0.1
20	今日の教育動向や学習指導、進路指導、生徒指導等に関する最新情報の収集に努めている。	4.0	3.8	4.0	0.2
21	学級活動や部活動等あらゆる機会において、生徒理解への努力している。	4.3	4.1	4.4	0.3
22	生徒の登下校時のマナーや交通ルールの意識向上の指導の努力をしている。	4.0	3.7	4.1	0.4
23	服装髪型や基本的な生活習慣の向上のための指導の努力をしている。	4.2	3.9	3.9	0.0
24	様々な方法で保護者との連携を深め、信頼の構築に努めている。	4.0	3.8	3.9	0.1
25	生徒や保護者・来訪者に対して、常に親切な対応を心がけている。	4.3	4.2	4.4	0.2
26	文書管理等の保管・整理を確実にしている。	4.0	4.0	4.2	0.2
27	学級会計・部費会計等について計画的な予算執行を行うとともに、相互点検による適正な会計処理を行っている。	4.1	4.2	4.4	0.2
28	スタディサプリが生徒の学習を支援するツールとなっている。	3.4	3.4	3.6	0.2
29	スタディサプリを授業や課題など様々な教育活動で積極的に活用している。	3.2	3.1	3.4	0.3
要望意見	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度校務分掌担当人数が見直されるように、対生徒との時間を確保するためにも、先生方の健康のためにも、さまざまな視点から業務改善が図られるといいと思う。 ・生徒たちの実態に合わせて、諸先生方と連携をとりながら今後も指導を続けたいと思います。 				

③職員アンケート 傾向と分析

今年度のアンケートから Google フォームを使用した回答方法に変更した。昨年度と比較し、ほとんどの項目でポイントがアップした。職員の意気軒昂な様子がうかがえ頼もしい。中でも項目 6「チャイムと同時に授業を始め、分かる授業をめざし工夫改善に心がけている。」(4.4 ポイント)、項目 21「学級活動や部活動等あらゆる機会において、生徒理解への努力している。」(4.4 ポイント)、項目 25「生徒や保護者・来訪者に対して、常に親切な対応を心がけている。」(4.4 ポイント)が高い。また、項目 2「担任や教育相談係等との連携を図るなど、教育相談の日常化への努力をしている。」(4.3 ポイント)、項目 16「校務分掌に対し、創意工夫(改善の視点)である業務遂行を心がけている。」(4.3 ポイント)がそれに続く。結果からは一島一校の本校で生徒教育環境向上のために職員が常に生徒に寄り添い丁寧な指導を日々行っていることが推察される。現在、質の高い指導を行うべく創意工夫を行っているところであるが、今後も離島の生徒の教育の質向上を維持できるよう工夫していきたい。

また、昨年度と比較して、項目 13「生徒が安全で楽しい学校生活を送れるよう、施設整備の点検や教育環境の充実に努めている。」、14 項目「屋久島高校グラウンドデザインに示した資質・能力に努めている。」、22「生徒の登下校時のマナーや交通ルールの意識向上の指導の努力をしている。」がそれぞれ 0.4 ポイント高くなった。特に項目 14 については、職員が「グラウンドデザインに示した資質・能力」を意識して学校教育活動を行っていることが分かる。本校生徒に身に付けさせたい資質・能力を的確に育成できることにつながっている。一方、項目 15「探究活動の指導に積極的に取り組んでいる。」は昨年度より 0.1 ポイント低い結果となった。本校は従来から専修大学や東洋大学との連携をしてきたが、今年度第一工大との高大連携もはじまった。また来年度からは 1 年次の総探を、屋久島について深く学びながら研究するステップを学ぶ内容に変更予定である。職員には自分で指導するだけでなく、専門的な知識・技術を持つ大学や教授陣、今の屋久島を知る地域の「知」を大いに活用し、生徒とそれらを結びつけるコーディネーターとしての役割を担うこともまた指導であるという意識改革を行っていきたい。

項目 29「スタディサプリを授業や課題など様々な教育活動で積極的に活用している。」が 0.3 ポイントアップしたことも特質すべき点である。職員の中には今年度初めて自作のプリントを紙媒体ではなくスタディサプリで配信したという者もいる。また今日行った授業の内容に関連するプリントを作成し、その日の夜に配信することを継続して行っている職員もいる。進路主任のサポートと牽引力の賜物である。さらに全職員で工夫し活用を促していきたい。